

2010. 1. 18



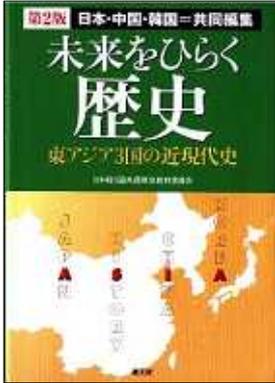
# NPOフォーラム・だより No.32

## NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awajp/> Blog 安房国再発見 <http://ameblo.jp/awabunka1>



### 緊急予告！ 2010年8月4～9日 第9回日中韓青少年歴史キャンプを館山・南房総エリアで開催

日中韓の青少年が、東アジア世界の100年の歴史を学び、討論を通して、自らの歴史認識を深め、形成することを目的とした交流事業が毎年開かれています。日本国内2度目となる今回は、アジア東端に位置する日本の安房地域がフィールドとして選ばれました。三国の中高大学生各50人が、大房岬少年自然の家に宿泊し、戦争遺跡や「四面石塔」、千倉の日中友好の碑、済州島の海女が暮らした和田町の漁村などをめぐります。安房文化遺産フォーラムも共同主催となりましたので、NPOメンバーの皆さんにもスタッフとして力を発揮していただきたいと願っています。(詳細後報)

### 元落下傘部隊兵士の版画家 秋山巖 講演会&個展 …オープニングでウミホテル合唱を披露！

- ◎ 1月19日(火)～25日(月) 作品展 大巖院ギャラリー 入場料無料
- ◎ 1月23日(土) 南総文化ホール小ホール 講演会 入場料 500円

昭和16(1941)年9月、海軍初の落下傘部隊として館山海軍航空隊で訓練し、12月には台湾経由でクーパン奇襲作戦に参加されました。昭和18(1943)年の部隊再編成時は館山砲術学校で再教育されていますが、いずれも館山の落下傘訓練プールは使用しておらず、事前の実験や指導者養成に用いられた可能性があることが判明してきました。1,500名の精鋭部隊のうち生還した200名の一人・秋山巖氏は、88歳の今なお版画家として活躍中。棟方志功の弟子として知られ、館山にゆかりの深い坂本繁二郎や柳宗悦らとも交流を深めたという経歴をもちます。67年ぶりの館山で貴重な体験を語ります。



### 知恵袋講座 …毎月第4火曜日 13:30～小高記念館 参加費 200円。楽しい茶話会です…

- ◎ 1月26日(火) 講師：新屋敷孝さん テーマ：「夢は実現させるもの」  
東京から和田町に移住してきた創年マラソンランナー。走ることを通して見えた世界と叶えた夢をご紹介します。
- ◎ 2月23日(火) 講師：川崎一さん テーマ：「滝めぐりは私の探究心から」  
まほろばの里・三芳で生まれ育ち、知り尽くしたふるさととの知られざる滝の魅力を語ります。

### 元気なまちづくり講座 ～富崎地区 3つの「あ」のまちづくり～

- ◎ 2月13・14日(土・日) 参加費無料 (昼食代は各自負担)  
「3つの「あ」～青木繁・安房節・アジのひらき～」を象徴として、漁村文化の誇りをまもり、地域活性化を図るための方策を学習し、意見交換をする貴重な場です。(国土交通省「新たな公」によるコミュニティ創生モデル事業)

### 無言館と梅野記念絵画館ツアー2日間 ～春の信州、館山ゆかりの美術館を訪ねる旅～

- ◎ 3月7・8日(日・月) 参加費 25,000円(ツイン利用。1人部屋は3,500円UP) 松代ロイヤルホテル泊  
戦没画学生の慰霊のために遺作品を展示した美術館「無言館」。昨夏開催した無言館主・窪島誠一郎氏の講演会がたいへん好評だったため、本企画を立案。梅野記念絵画館は、青木繁が館山から絵手紙を送った親友梅野満雄の孫にあたり、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会の発起人のひとり。定員40名、NPOメンバーは別紙案内書にて先行予約受付中。2月以降は房日観光の一般公募。

### ♪ウミホテル合唱団・安房♪

【指導者】栗原けい子先生 【入会金】1,000円(新楽譜代・通信費を含む) 【団費(月額)】2,000円  
【練習日時・会場】19:00～20:30 館山市コミュニティセンター3F 音楽室  
1月21日(木) ♪2月18日(木) ♪2月25日(木) ※1月23日(土)は17:00～

### ◇予告◇ 3月6日(土) 映画『日本の青空2～いのちの山河』 上映計画中

主催：「日本の青空2」上映委員会(安房の地域医療を考える市民の会) 後援：安房医師会 (続報に乞うご期待！)

■ 戦跡ガイド向け勉強会

…高井ヶ谷地区フィールドワーク (要予約、先着 20 名)

◎ 1月31日(日) 12:00～ 南房総市(旧三芳村) 持物:軍手、懐中電灯、飲料水、あれば草刈鎌 等

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

- 1月22日(金)13:30～15:00 埼玉県観光ボランティアガイド研修:講演 (大宮合同庁舎にて)
- 1月23日(土)10:30～15:00 生協労組ちばピースの会(46名):座学・基本
- 1月24日(日)9:00～14:30 全教千葉教職員組合(40名):座学・赤山・かきた村
- 1月24日(日)西都保健生協九条の会(20名):
- 1月30日(土)10:00～15:00 生協労組ちば(25名):岩井袋・下滝田・大房岬
- 2月1日(月)9:00～14:45 埼玉県平和運動センター社民党(30名):
- 2月1日(月)11:00～14:30 船橋市商工会議所(15名):座学・赤山+α
- 2月4日(木)9:30～10:30 那古小学校家庭教育学級:座学のみ
- 2月5日(金)10:30～11:30 常陸大宮遺族会(35名):赤山のみ
- 2月7日(日)10:00～12:00 赤山無料ガイド
- 2月17日(水)11:00～15:00 共産党芳川東地域後援会(8名):座学・赤山・四面
- 2月17日(水)～18日(木)八期の会(7名)座学・赤山・かきた・四面/青木繁《海の幸》
- 2月20日(土)～21日(日)千葉県歴史教育研究集会(会場:千葉大学けやき会館)
- 2月25日(木)10:00～17:00 登戸研究所保存の市民の会(10名):座学・基本・かきた村

**募集中!**  
**ガイド&アシスタント**  
 \* \*  
**NPOの名刺を作りましょう**  
**100枚 500円**

REPORT

日本洋風彫刻の祖・長沼守敬

館山に残る旧宅を調査

大阪芸大のつえ・定規など見つかる  
 石井教授



長沼守敬の旧宅＝館山市館山

大阪芸術大学の石井元章教授(イタリア美術史)が5日、日本初の洋風彫刻家・長沼守敬(ながぬま・もりよし、1857-1942)が晩年を過ごした館山市館山の旧宅を訪れ、同市のNPO法人・安房文化遺産フォーラムのメンバーとともに長らく無人となっている

内部を調査した。一行は、長沼本人のものが5日、日本初の洋風彫刻家・長沼守敬(ながぬま・もりよし、1857-1942)が晩年を過ごした館山市館山の旧宅を訪れ、同市のNPO法人・安房文化遺産フォーラムのメンバーとともに長らく無人となっている



パリの絵柄のあるファイルを持つ石井元章・大阪芸大教授

美術学校に留学して正統的な洋風彫塑技法を習得。帰国後は東京美術学校(現・東京芸大)の初代造形科教授となり、ベルツ博士像など数々の胸像・彫刻を手がけた。1914年(大正3)57歳で突然美術界を去り、館山に移り住んで彫刻制作はほとんどせず、のんびりと生涯を過ごした。関東大震災でも倒壊し、現存する日誌の欠落が1891年に洋行した際の日誌を記したメモで、現存する日誌の欠落

なかつたという木造平屋建ての旧宅は、ここ30年ほどは無人で荒れ果てたまま。親族から同フォーラムが管理を委託され、保存・活用方法を模索している。今回の調査は、同フォーラムの愛沢伸雄代表が以前、内部で一片の紙を発見したのが発端。石井教授によると、長沼が1891年に洋行した際の日誌を記したメモで、現存する日誌の欠落

を埋める内容だったという。石井教授は明治期の日本とイタリアの文化交流を研究する過程で、1897年の第2回ベネチア・ビエンナーレに日本の美術品が初出品された際に現地でも立ち会った長沼に着目。その生涯の解明に挑んでいる。「非常に古い家なのに床がきしんだりすることもなく、頑丈で驚いた」と石井教授。今回は、内部にある品物を数十点にわたって持ち出し、学術的に価値があるかどうかの確認作業を進めるとい

房日新聞 2010.1.7

長沼邸旧居は、青木繁《海の幸》誕生の小谷家住宅にならぶ貴重な歴史文化遺産です。